

～考える「道路守り(みちもり)」へチャレンジ～

1. 維持管理のプロとして現場マネジメント感覚を磨き、責任感ある主導的立場を担える社員育成に取り組む。
2. 最高水準の安全・品質・技術の確立に向け、将来を見据えた一步進んだ取り組みへのチャレンジを続ける。
3. 高齢化・老朽化する構造物や設備に対しては、「予知保全」などの考え方を積極的に取り入れ、「考える維持管理」へシフトする。
4. DX推進などにより、あらゆる視点から業務効率化を進め、より付加価値の高い仕事へシフトする。

以下の4つの重点項目により、取り組んで参ります。

1. 維持管理のプロ集団を実現するための総合技術力の向上
2. 安全文化のあくなき追求
3. 将来を見据えた一歩進んだ技術の確立と推進
4. 働き方改革による生産性の向上

第6期 中期経営計画(2024~2026)

第6期中期経営計画では、4つの重点施策を掲げ取り組んで参ります。

第6期 中期経営計画(2024~2026)の重点項目

【組織風土ビジョン】

◎維持管理のプロ集団を実現するための総合技術力の向上

- ・責任感と現場感覚をもち常に主導的な役割を担うことができる現場マネジメント人材を育成し、維持管理のプロ集団を目指します。

◎安全文化のあくなき追求

- ・社員全員が安全管理のレベルアップを意識し、過去事例やヒヤリハット事例を活用した事故防止活動に取り組むとともに、最新技術の導入・開発を推進することで『事故“ゼロ”』を達成します。

【業態・事業領域ビジョン】

◎将来を見据えた一歩進んだ技術の確立と推進

- ・構造物等の老朽化に伴い、年々増加する損傷や不具合に対応する『事後保全』から、品質の高い管理水準を維持するために『予知保全』の考えを取り入れることで、損傷分析・企画判定・データ解析手法を確立させるなど、将来の損傷発生を抑制させるための"考える維持管理"にシフトします。

【社員満足ビジョン】

◎働き方改革による生産性の向上

- ・既存の仕組み・システムの徹底した見直しによりDXを推進し、煩雑な事務作業を簡略化することで業務全体の生産性を向上させ、書類作成等の時間から現場・品質・技術に携わる時間へとシフトすることで技術力向上に向けた挑戦が出来る環境を整備します。

